
OBD2+GPS両対応 多機能メーター

取扱説明書

M-OBD-V09



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に本書を全て必ずお読みいただき、正しくご愛用いただけますようお願い申し上げます。

なお、本品の装着に関する事故や弊害につきましては、いかなる場合においても、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

1. 安全・取り扱いに関するご注意	1
1.1. 取り付け作業をする前に	1
1.2. 取り扱いに関して	3
2. 構成部品・各部名称	4
3. 製品仕様	4
4. 取り付け方法	5
4.1. 動作確認（取り付け前に）	5
4.2. 本体を取付ける	5
5. 使用方法	6
5.1. 電源を ON にする	6
5.2. 電源を OFF にする	6
5.3. 手動で電源を ON/OFF にする	6
6. 表示項目・表示範囲	7
6.1. カスタムUI切り替え	7
6.2. 液晶エリア1の表示UI	7
6.3. 液晶エリア1のデータ表示を切り替える	8
6.4. 19種類のデータ項目	8
6.5. 液晶エリア2の表示UI	9
6.6. PIDデータ一覧	10
6.7. 設定メニュー	12
6.7.1 Speed Set（速度設定）	13
6.7.2 Adjust（調整設定）	13
6.7.3 Fuel Set（燃料設定）	14
6.7.4 Time Set（時間設定）	14
6.7.5 Alam Set（警告機能設定）	14
6.7.6 Sys Set（本体設定）	15
6.7.7 Help（簡易ガイド説明）	16
7. ファームウェアについて	16
8. よくあるご質問	17

1.安全・取り扱いに関するご注意【必ずお読みください】

本製品は車両情報を表示する製品です。本製品を取り付けの前に本取扱説明書及び取り付ける車両のメーカーが発行している整備解説書、配線図に示されている内容や安全に関する注意事項をよくお読みいただき、十分に理解された上で取り付けいただきますようお願い申し上げます。

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を「危険」「警告」「注意」の3つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に正しくお使いいただくために必ず行っていただきたい事項と、守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けください。

△危険	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負うことがあり、かつその切迫度合いが高いことが想定される場合。
△警告	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。
△注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
確認	「必ず行っていただきたい事」、「必ず守っていただきたい事」を示しています。

注意内容の性質表示

△	△注意 (警告を含む) をしなければならない記号です。
⊘ 禁止	⊘ は、行為を禁止する記号です。(絶対にしてはいけない事です。)
① 必要	① は、行為を指示する記号です。(必ず行っていただくことです。)

1.1. 取り付け作業をする前に

△危険

- ⊘製品は水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けないでください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- ⊘ステアリング、ブレーキなどの運転操作に直接関係する部位付近には配線しないでください。運転の妨げによる事故の原因となり大変危険です。
- ①作業を行う時は必ず車が動き出さないような措置をし、エンジンを停止してから行ってください。作業中に車が動き出したり、火災の原因になり大変危険です。

- ❶ シートベルトやエアバックなどの安全装置や、エンジン、ステアリング、ブレーキなどの走行性能と直接関係する部位のハーネスの加工時および配線の接続時（ネジの脱着など）は誤配線に十分注意してください。車両不具合による事故や火災の原因となり大変危険です。
- ❷ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。特に安全装置や運転の妨げになる位置に製品を取り付けしないでください。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、製品の脱落や車両破損の原因、運転の妨げとなります。
国土交通省の定める道路運送車両の保安基準の改正（平成 17 年 1 月 1 日）に従い、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。
- ❸ 製品が故障したり誤動作した場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用すると車両の故障や事故の原因となります。

⚠警告

- ⊙ 本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく故障や事故の原因となります。
- ⊙ エンジン停止直後は絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後はエンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があります。
- ⊙ 作業中は幼児・子供等を近づけないでください。部品等が外れて飲み込む等の恐れがあります。
- ⊙ 乗員保護装置（エアバッグ等）の作動に影響を及ぼす場所に取り付けしないでください。保護装置作動時にケガの恐れがあります。

⚠注意

- ⊙ 本製品に過大な力をかけたり、ぶつけたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- ⊙ 本製品の端子などに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。
- ⊙ 本製品付属のハーネス以外で配線をしないでください。
- ⊙ 本製品は、水のかかる場所、湿気やほこりの多い場所、ヒーターの吹き出し口やその周辺には取り付けしないでください。
- ⊙ コードを強く引っ張らないでください。破損の原因となります。
- ❶ 車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。
- ❷ ハーネスは点火信号や無線、HID ユニットのハーネスなどのノイズの発生しそうな場所を避けて配線してください。点火系などのノイズは製品誤動作の原因となります。
- ❸ サンシールドを使用する場合は、フロントガラスと製品の間に置くようにして

製品が日陰になるようにしてください。

- ❶ 清掃するときは、電源を切り、眼鏡拭きやスマホクリーナーのような乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れを落とす場合は、中性洗剤に浸してよく絞った布で拭いてください。有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）、酸・アルカリ類は使用しないでください。
- ⚠️ 取り付け作業の際に純正部品等が破損、紛失しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ⚠️ 車両の OBDII コネクタ部にカバーが付いている車種の場合、本製品を取り付けるとカバーが閉まらなくなることがあります。

1.2. 取り扱いに関して

⚠️ 警告

- ⊙ 走行中は安全のため本製品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。
- ⊙ 「表示がでない」などの故障状態や、「水などがかかった」「煙が出た」「変な匂いがする」などの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生しましたら、すみやかに販売店、取り付け店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となり大変危険です。
- ❶ 取り付け後も定期的に点検を実施し、十分注意してご使用ください。使用環境や条件等によって耐久性が落ちる場合があります。
- ❶ 本製品を長期間使用しないときは車両から外してください。
- ❶ 廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。
- ❶ 操作は車を停止して行ってください。
- ❶ 製品の表示は参考値です。純正メーターの指示で運転してください。

⚠️ 注意

- ⚠️ 本製品の使用、または故障により生じた直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ⚠️ 本製品は照明に高輝度 LED を使用しています。LED 生産上の公差による多少の色味の違いが発生する場合がありますが、製品の異常ではありません。
- ⚠️ アイドリングストップ車の場合、アイドリングストップ時のバッテリー電圧の低下によりエンジン始動復帰時に製品の電源がオフ/オンする場合がありますが、製品の異常ではありません。
- ⚠️ 本製品は製品改良のため予告なく本体ソフトウェアをバージョンアップすることがあります。そのため本書と製品の内容が若干異なる場合があります。

※本製品を取付けての違法行為（スピード違反など）に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

2. 構成部品・各部名称



本体



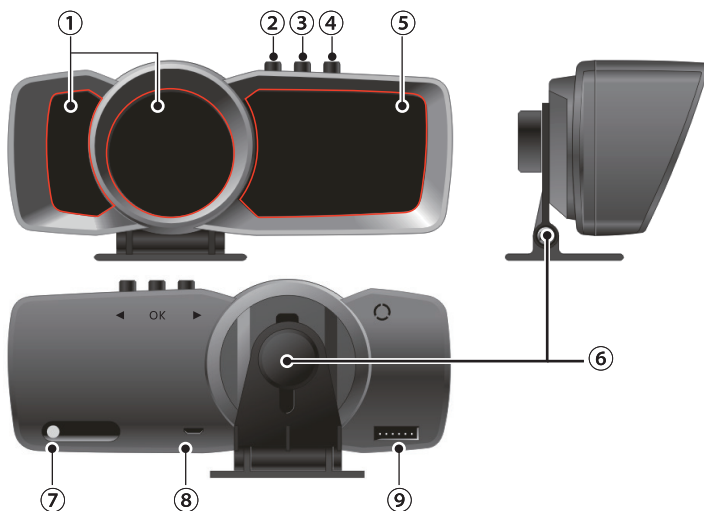
OBD接続ケーブル



両面テープ



内張りはがし



- 1 : 液晶エリア1
- 2 : 左ボタン
- 3 : OKボタン
- 4 : 右ボタン
- 5 : 液晶エリア2

- 6 : 取付スタンド
- 7 : 調光センサー
- 8 : DC5V電源入力/アップグレードポート
(microUSB)
- 9 : OBD II 接続ポート

3. 製品仕様

保存温度範囲	-20℃ ~ +80℃
使用温度範囲	-20℃ ~ +60℃
動作電圧範囲	11V~16V (DC24V車でご利用する場合はDC5V電源のUSBケーブル経由でmicroUSBポートに給電してください。)
消費電流	約150mA、待機電流： < = 5mA (長時間停車する場合はOBD II 接続ケーブルを抜いてください。)

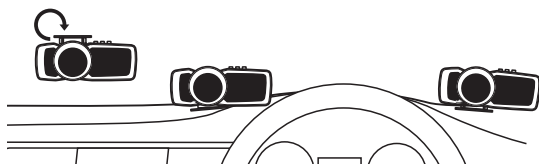
4. 取り付け方

4.1.動作確認 (取り付け前に)

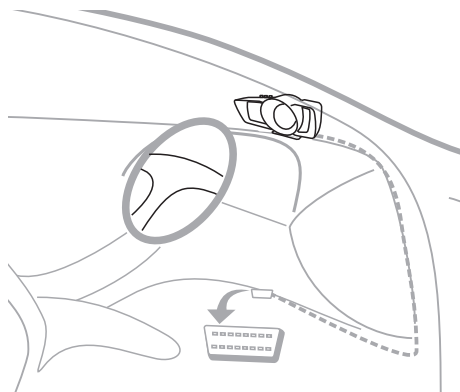
取り付けの注意をご確認いただき、必ず本機を車両に仮取付けて動作確認をしてください。

4.2.本体を取付ける

1. 取付面を決めてください。



2. 取付スタンド底面に両面テープを貼付けます。
3. 濡れたタオルなどで取付面を拭き、きれいにしてから本体を装着します。
4. 車のOBD II 端子と本機器を付属のケーブルで接続した後、しばらくお待ちください。サーチを行った後、電源が入ります。

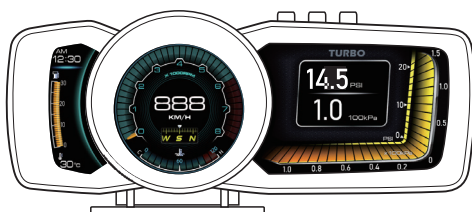


- ・ 車両の機能(エアバッグや運転支援システムなど)に影響のない場所に取付けてください。
- ・ 本体上方向、前方向に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。
- ・ 液晶の特性上、本体を取付ける場所や角度によってはディスプレイが見えにくくなる場合があります。
ディスプレイが視界の正面になると一番見やすくなるように設計されていますので、ディスプレイが視界の正面になるように本体を取付けてください。

5. 使用方法

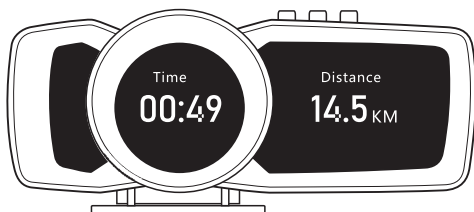
5.1. 電源を ON にする

車のエンジンを始動（ACCをON）すると本製品は自動的に起動します。起動後はカスタマイズUIを表示します。



5.2. 電源を OFF にする

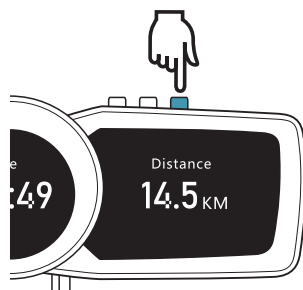
車両のエンジンを停止（ACCをOFF）すると、走行時間と走行距離を表示してから本製品は自動的に待機状態（電源OFF）になります。



5.3. 手動で電源を ON/OFF にする

液晶エリアにメーター画面が表示される時に、右ボタンを長押しすると、本製品は待機状態（電源OFF）になります。

待機状態（電源OFF）で右ボタンを短押しすると、動作状態（電源ON）になります。



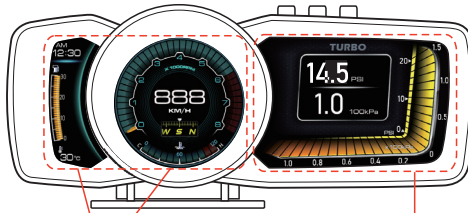
6. 表示項目・表示範囲

⚠ 注意

運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。
必ず同乗者が操作を行なってください。
画面を強く押したり、先の鋭いもので押さないでください。
表示パネルが割れて、ケガの原因となります。

6.1. カスタムUI切り替え

左ボタンを短押しして、液晶エリア1の表示UIが切り替えます。
右ボタンを短押しして、液晶エリア2の表示UIが切り替えます。



液晶エリア1
表示UI切り替え：
gentleman
Technology
knight

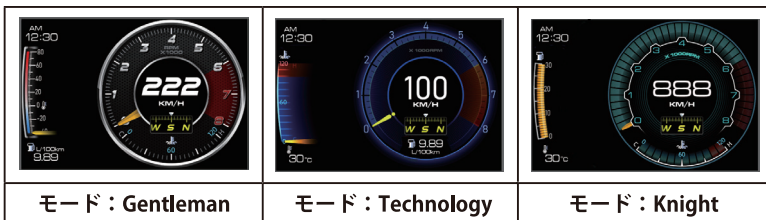
液晶エリア2
表示UI切り替え：

Turbo
GPS
9 data
Testing
PID list

6.2. 液晶エリア1の表示UI

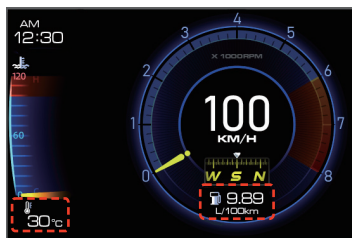
液晶エリア1の表示画面を下記3種のUIモードに切り替えることができます。

【液晶エリア1表示UI】



6.3. 液晶エリア1のデータ表示を切り替える

液晶エリア1の各表示モード画面において左ボタンを長押しして、表示項目アイコンが点滅になります。左ボタンを短押しして表示項目を確定することができます。



表示項目例：Technology（赤枠内）

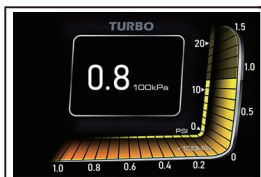
6.4. 19種類のデータ項目

データ項目		表示値・単位	
		下限値～上限値	単位
	Voltage/電圧	4.6～16	V
	Coolant/水温	-40～130	°C
	Oil T./油温	-36.8～119.6	°C
	AT T./ミッション油温	-38.8～126.1	°C
	TURBO/ブースト圧	-1.0～2.0	x100kPa
	Inst Fuel/瞬間燃費	0～30.00	L/100km
	Avg Fuel/平均燃費	0～30.00	L/100km
	ENGINE L./エンジン負荷	0～100	%
	EGT/排気温	0～1100	°C
	Fuel/燃料レベル	0～100	%
	DriveDist/走行距離	0～9999	KM
	DriveTime/走行時間	00:00～99:00	HH:MM
	Amb Temp/外気温	0～200	°C
	GPS NumSv/衛星数	0～50	-
	GPS Elevation/標高	0～9999	M
	TACHO/回転数	0～9999	RPM
	GPS Speed/スピード	0～280	km/h
	FUEL P./燃料圧	0～500	Kpa
	OIL P./エンジンオイル圧	0～500	Kpa

下限値以下の場合は下限値、上限値以上の場合は上限値を表示します。

6.5. 液晶エリア2のデータ表示を切り替える

液晶エリア2の表示画面を下記6種のUIモードに切り替えることができます。



ターボ計

「100kpa、PSI、BAR」から設定できます。

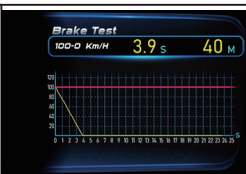


GPSデータ一覧

GPS速度、走行方向、捕捉衛星数、経緯度、標高を表示します。



加速性能テスト



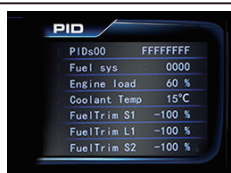
ブレーキ性能テスト

Acceleration :
速度が100km/hに到達するまでの時間を表示します。
Brake test :
100km/hを超えた時にブレーキをかけると、停止までの距離と時間を表示します。



9マスデータ表示

9マスの項目を同時に表示します。
(19種類のデータ項目から選択出来ます。)
右ボタンを長押しして、表示項目アイコンが点滅になります。
右ボタンを短押しして表示項目を確定することができます。



PIDデータ一覧

PIDデータを全て表示します。

6.6. PIDデータ一覧

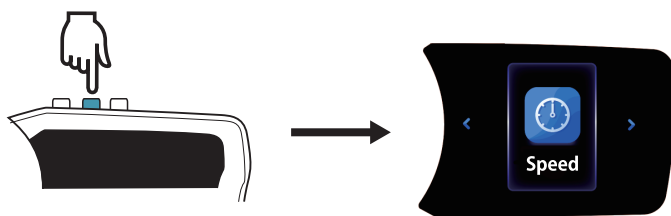
PID項目		単位
PIDs##	PIDデータ種類	-
Fuel sys	燃料システム状態	-
OBD.SVC	OBD標準	-
ENGINE L.	エンジン負荷	%
WATER T.	冷却水温度	°C
FuelTrim S1	短期燃料修正a	%
FuelTrim L1	長期燃料修正a	%
FuelTrim S2	短期燃料修正b	%
FuelTrim L2	長期燃料修正b	%
FUEL P.	燃料圧力	kPa
IN-MF P.	インテークマニホールド圧力	kPa
TACHO/RPM	エンジン回転数	RPM
SPEED	走行速度	km/h
IGN. T.	点火進角	° before TDC
AIR F.	吸入空気量	grams/sec
IAT.	吸気温度	°C
AUS	補充入力	ON/OFF
RUN T.	エンジン動作時間	seconds
F.R.P.	燃料レール圧力	kPa
FUEL P.	ガソリン直噴圧力	kPa
OS.P	O2(空燃比)センサーリスト	-
OS.A ※(A~H)	O2(空燃比)センサーA	ratio
MVF	最大空燃比	ratio, V, mA, kPa
THRO P.	スロットル ポジション	%
SASC	2次排気噴射指令	-
CEVAP	燃料蒸発ガス防止	%
FUEL LEV.	燃料残量	%
GVP	燃料蒸発ガス圧力	Pa
EVP	燃料蒸発ガス圧力(絶対値)	Pa
AEVP	燃料蒸発ガス圧力(標準値)	kPa
Commanded EGR	排気還流弁指令	%
EGR Error	排気還流弁状態	%
TWC TEMP.A	触媒コンバーター温度A ※(A~D)	° C
TA	外気温	° C
TPS B ※(B~C)	スロットル開度位置B ※(B~C)	%
CTA	スロットル開度コントロール指令	-
RTM	故障コード状態のエンジン動作時間	minutes
DTWM.I.L	故障コード状態の走行距離	km
DTSCC	故障コードクリア後の走行距離	km
WUSCC	故障コードクリア後のエンジン動作時間	count
TSTCC	故障コード消去後の時間	-

Fuel Type	燃料タイプ	-
RAP	アクセルポジション	%
OIL T.	エンジンオイル温度	°C
GPS NumSv	捕捉衛星数	-
MSDC	システムリスト	-
CMV	電圧	V
CLV	絶対エンジン負荷率	%
FACER	燃空当量比	ratio
MFS	最大吸気量	g/s
E Fuel	アルコール混合ガソリン燃料残量	%
STS.OS.AC	短期O2センサー調整AC	%
LTS.OS.AC	長期O2センサー調整AC	%
STS.OS.BD	短期O2センサー調整BD	%
LTS.OS.BD	長期O2センサー調整BD	%
APP.D	アクセルポジションD ※(D~F)	-
BPM	駆動用バッテリー残量	%
FIT	燃料噴射タイミング	°
FUEL C.	燃費	L/H
ERWVD	排気量レベル	-
GPS Time	GPS時間	-
GPS Direction	GPS方向	-
GPS Elevation	GPS標高	M
GPS Longitude	GPS経度	-
GPS Latitude	GPS緯度	-
OSM	故障コード数量	-
Freeze DCT	故障コード (DTC)	-

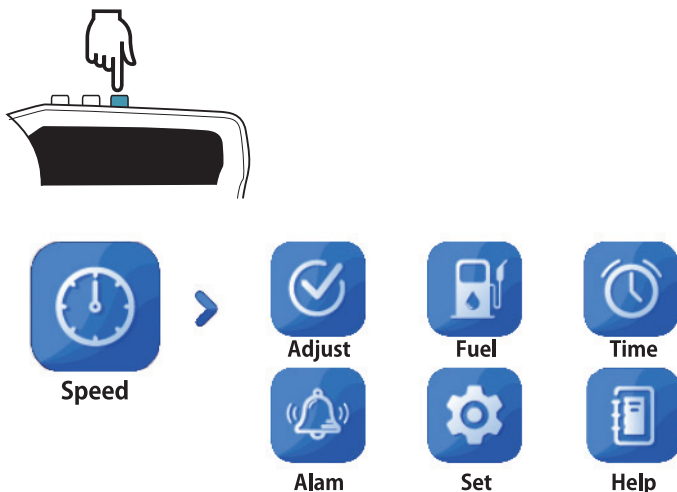
※PIDデータは本機が実際に読み取れたデータしか表示されません。
 ※車種、年式によって表示項目や内容が異なる場合があります。
 ご注意ください。

6.7. 設定メニュー

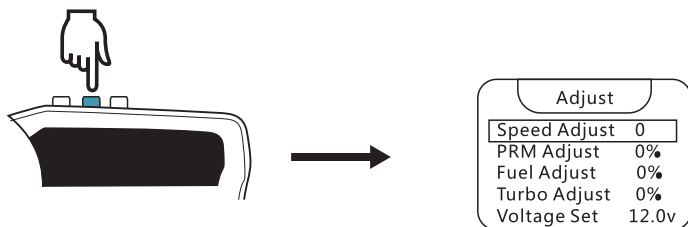
OKボタンを長押し(3秒)すると、設定メニュー画面が表示されます。
設定メニュー画面でOKボタンを長押し(3秒)するとメーター画面に戻ります。



左ボタン・右ボタン操作でメニュー項目を切り替えることができます。



設定するメニュー項目でOKボタンを短押しして選択し、各種設定を行います。
各種設定画面にてOKボタンを長押し(3秒)すると一つ前の画面に戻ります。



6.7.1 設定メニュー：Speed Set（速度設定）



スピードに関する設定ができます。

設定項目		初期値	設定範囲
Speed Adjust	速度調整	+0%	-/+1~9
Speed Choice	データ選択	OBD	OBD/GPS
Speed Unit	速度単位	KMH	KM/MILES
Speed Alarm	スピード超過警告	160	OFF、30KM~250KM
Speed L1 Warning	スピード超過警告L1	OFF	OFF、30KM~250KM
Speed L2 Warning	スピード超過警告L2	OFF	OFF、30KM~250KM
Speed L3 Warning	スピード超過警告L3	OFF	OFF、30KM~250KM
Speed L4 Warning	スピード超過警告L4	OFF	OFF、30KM~250KM

6.7.2 設定メニュー：Adjust（調整設定）



各種データ数値の調整ができます。

設定項目		初期値	設定範囲	注
Speed Adjust	速度データ調整	0	-9~+9	※1
RPM Adjust	回転数データ調整	+0%	-25%~25%(N)	※2
Fuel Adjust	燃費データ調整	+0%	-25%~25%(N)	
Turbo Adust	ブースト圧データ調整	+0%	-25%~25%(N)	※3
Voltage Set	電圧データ調整	12	-	※4

※1：計算方法 $SPEED=ECUSPEED*(100+N)/100$
調整例（初期値0の場合はECU値*105%で表示します。）

	50	60	70	80	90	100	110	120
-9	54	65	76	87	98	109	119	130
-8	54	65	75	86	97	108	118	129
-7	53	64	75	85	96	107	117	128
-6	53	63	74	85	95	106	116	127
-5	52	63	73	84	94	105	115	126
-4	52	62	73	83	93	104	114	125
-3	51	62	72	82	93	103	113	123
-2	51	61	71	82	92	102	112	122
-1	50	61	71	81	91	101	111	121
0	50	60	70	80	90	100	110	120
1	50	59	69	79	89	99	109	119
2	49	59	69	78	88	98	108	118
3	49	58	68	78	87	97	107	117
4	48	58	67	77	87	96	106	115
5	48	57	67	76	86	95	105	114
6	47	57	66	75	85	94	104	113
7	47	56	65	75	84	93	103	112
8	46	55	65	74	83	92	102	111
9	46	55	64	73	82	91	101	110

調整設定値

実際のスピード

本機表示スピード

※2：計算方法 $RPM=ECURPM*(1+N)$

※3：計算方法 $TURBO=TURBO*(1+N)$

※4：車両バッテリーの実際電圧値を設定してください。

6.7.3 設定メニュー：Fuel Set（燃料設定）



各種データ数値の調整ができます。

設定項目		初期値	設定範囲
Fuel Calcu	計算方法	AUTO	AUTO/Alr Fow(吸気量)/Emission(排気量)
Swept Volume	排気量	1.6L	0.1L~10.0L
Fuel Adjust	計算調整	+0%	(-100%~+100%)
Fuel Unit	燃費単位	L/100KM	L/100KM / KM/L
Fuel Set	燃費設定	Avg Fuel	Avg Fuel / Inst Fuel

6.7.4 設定メニュー：Time Set（時間設定）



各種データ数値の調整ができます。

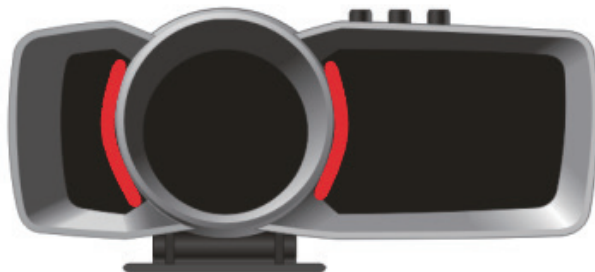
設定項目		初期値	設定範囲	注
Time Zone	タイムゾーン	8:00	左ボタン操作：[M]：0,30,45 右ボタン操作：[H]：-12~14	※1
Break Recom.	過労運転警告	4H	1H~8H	

※1：走行時間が設定値を超えると液晶エリア1にて「カープ」マークが表示されます。

6.7.5 設定メニュー：Alam Set（警告機能設定）



警告機能のON/OFF、各種の警告機能の設定ができます。
警告を発生時には、下記画像が示すように赤色の警告灯が点滅します。
また、該当する【警告のデータ項目&アイコン】の表示も同時に点滅します。



設定項目		初期値	設定範囲
Alarm Switch	警告ON/OFF	ON	ON/OFF
Speed Alarm	スピード超過警告	130KM/H	30KM~250KM
RPM Alarm	オーバーレブ警告	6000 RPM	1000RPM~8500RPM
Coolant Alarm	水温超過警告	120 °C	80°C~130°C
Voltage Alarm	過電圧警告	10.0V	9.0V~16.0V
Oil T. Alarm	エンジンオイル温度警告	115°C	75°C~145°C
Oil P. Alarm	エンジンオイル圧力警告	50Kpa	50~500kpa
Turbo Alarm	ターボ圧力警告	120Kpa	50~200kpa
Fuel P. Alarm	燃料圧力警告	50Kpa	50~500kpa
EGT Alarm	排気温度警告	950°C	500~1100°C

6.7.6 設定メニュー：Sys Set（本体設定）

本体の設定ができます。



Set

設定項目		初期値	設定範囲	注
Brightness	輝度	AUTO	1~11	
Brightness Min	最低輝度	3	1~11	※1
TFT Contrast	コントラスト	24	0~63	
Distance Unit	距離単位	KM	KM/MILES	
Turbo Unit	ブースト圧力単位	100KPA	100KPA/PSI/BAR	
OBD Switch	OBDスイッチ	ON	ON/OFF	※2
Power On	電源ON設定	0.5V	OFF~2.0V	※3
Power Off	電源OFF設定	MODE 0	MODE 0~MODE 2	※4
Trun Off	OFF電圧設定	13.2V	9.0V~16.0V	※5
Clear DTC	故障コード消去	OK	-	※6
Factory Set	設定初期化	OK	-	※7
PID Search	PID検索	AUTO	AUTO, 0700 ~ 07FF	※8
PID Set	PID設定	AUTO	-	※8
Speed PID	速度PID	AUTO	-	※8
RPM PID	回転数PID	AUTO	-	※8
Turbo PID	ターボPID	AUTO	-	※8
Quest Mode	通信モード	Multi	Multi/Normal	※8
Request Rate	更新速度	50ms	30ms~250ms	※8
Value Smooth	数値を滑らかに	15ms	10ms~250ms	※8
Graph Smooth	画像を滑らかに	15ms	10ms~250ms	※8

※1：「Brightness 輝度」の設定が「AUTO」以外の場合は無効です。

※2：OFFにした場合は、GPS速度が「0」のまま5分後に電源オフします。

※3：エンジン始動時の電圧差範囲を設定します。

※4：【Mode 0】OBD通信が終了した5秒後に電源オフになります。

【Mode 1】スピードが0km/hの状態、かつ回転数は0で、電圧は9の設定値以下になた5秒後に電源オフになります。

【Mode 2】OBD通信が終了した5分後に電源オフになります。

※5：電圧OFFモードがMode 1の場合にしか設定します。

※6：OKボタン操作後に動作し、本機再起動後に完了します。

※7：OKボタン操作後に動作します。

※8：使用しません

6.7.7 設定メニュー：Help（簡易ガイド説明）

本機の設定や操作に関する簡易ガイド説明画面が表示します。



Help

7. ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



https://www.maxwin.jp/content/fw_update.html

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

8. よくあるご質問

症状	考えられる原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> ○画面が起動しない。 ○電源が入らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○OBD2適応車種ではない。適応車種にはエンジンルームにOBD2認証ステッカーが添付されております。 ○エレクトロタップのロックが閉まっていない、または接触不良を起こしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2008年以降の国産車（OBD2搭載）のみ適合します。 ○エレクトロタップの配線部を確認してください。
<ul style="list-style-type: none"> ○エンジン停止後に自動的に電源オフしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○バッテリー電圧が高い。 ○ハイブリッド車でのご利用。 	<ul style="list-style-type: none"> ○【OFF電圧設定】設定を132V、または136Vに設定してください。
<ul style="list-style-type: none"> ○周囲の明るさが変わっているのに表示の明るさが変わらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調光設定が手動になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調光設定を変更してください。
<ul style="list-style-type: none"> ○USBケーブル接続で画面が起動しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切なUSBケーブルを使用していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ケーブルがきちんと挿入されているか、また本体の電源をONにしたかご確認ください。
<ul style="list-style-type: none"> ○純正メーターより車速の表示値が少し低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○純正メーターの車速表示は実際より最大で10%程度高い場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○【Adjust】設定で純正メーターとの差を最小限に調整してください。
<ul style="list-style-type: none"> ○停車中に電源オフする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アンドリングストップ動作でACC電圧低下、停止。 	<ul style="list-style-type: none"> ○【OFF電圧設定】を「Mode2」に設定してください。
<ul style="list-style-type: none"> ○明るい場所で見づらい。 ○画面が2重に見える 	<ul style="list-style-type: none"> ○製品の特性上、強い光源がある場合に見づらくなったり、見えなくなったりする。 ○製品の特性上、ゴーストと呼ばれる2重に見える現象が発生する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○異常ではありません。 ○本機器の明るさを弱めることにより軽減します。

症状	考えられる原因	対処方法
○動作しない。 ○電源が入らない。	○電源入力先が通電されていない。	○他のDC5V電源と接続して、再度確認ください。
○スピードが表示されない。	○GPS測位中。	○表示されるまで、広い道路へ移動してください。 5個以上のGPS信号を受信すると表示されます。
○走行方向が誤って表示される。	○GPS測位中。	○車速が5KM/Hを超えると正常に表示されます。
○駐車中にも1km/h以上の車速が表示する。	○GPSの測位誤差。	○GPS受信しやすい場所へ設置してください。
○時間表示が正しくない。	○日本用のタイムゾーン（時差+9時間）で設定されていない。	○【Time】設定でタイムゾーンを調整してください。

※仕様変更などにより本書の内容と本機が一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
※本書の著作権は昌騰有限会社に帰属します。無断複製、引用は固く禁じます。

M-OBD-V09_20210210